

PC-18 伊根町内デマンド型乗合タクシー「いねタク」の利用促進に向けた予約方法支援の取り組み

井上 学（龍谷大学）, 竹熊 万由佳（伊根町企画観光課）

〈背景と目的〉

■京都府伊根町の概要

- ・人口2,030人（男：955人・女1,035人）・910世帯 ※2021年1月時点
- ・高齢化率48.5% ※2020年時点
- ・伊根町内と宮津駅・天橋立駅間は丹海バスが平日14往復・土休日13往復運行（おおむね1時間に1本の運行）

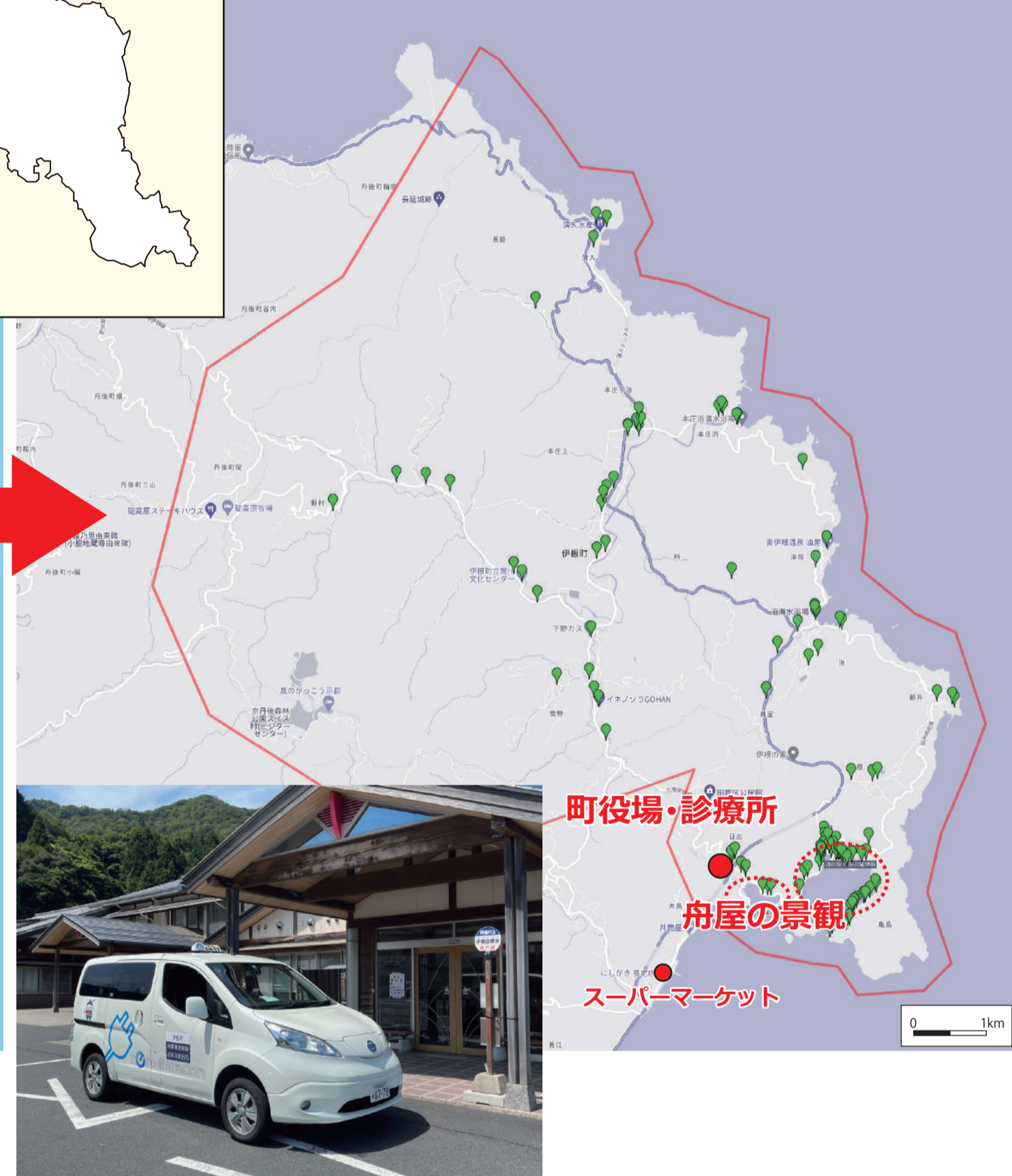
■コミュニティバスから予約型乗合交通（いねタク）へ

- ・町内で運行されていたコミュニティバスに替わり、2022年4月1日から「いねタク」を運行
- ・デマンド型交通の利用には予約が必要であるが、利用者にとっては予約に対する心理的な抵抗は強い
⇒いねタクは登録が必要なため心理的な抵抗はより高い
- ・心理的抵抗を低減することによって、利用者のいねタクの受容を目指した

■伊根町コミュニティバス（2022年3月まで）

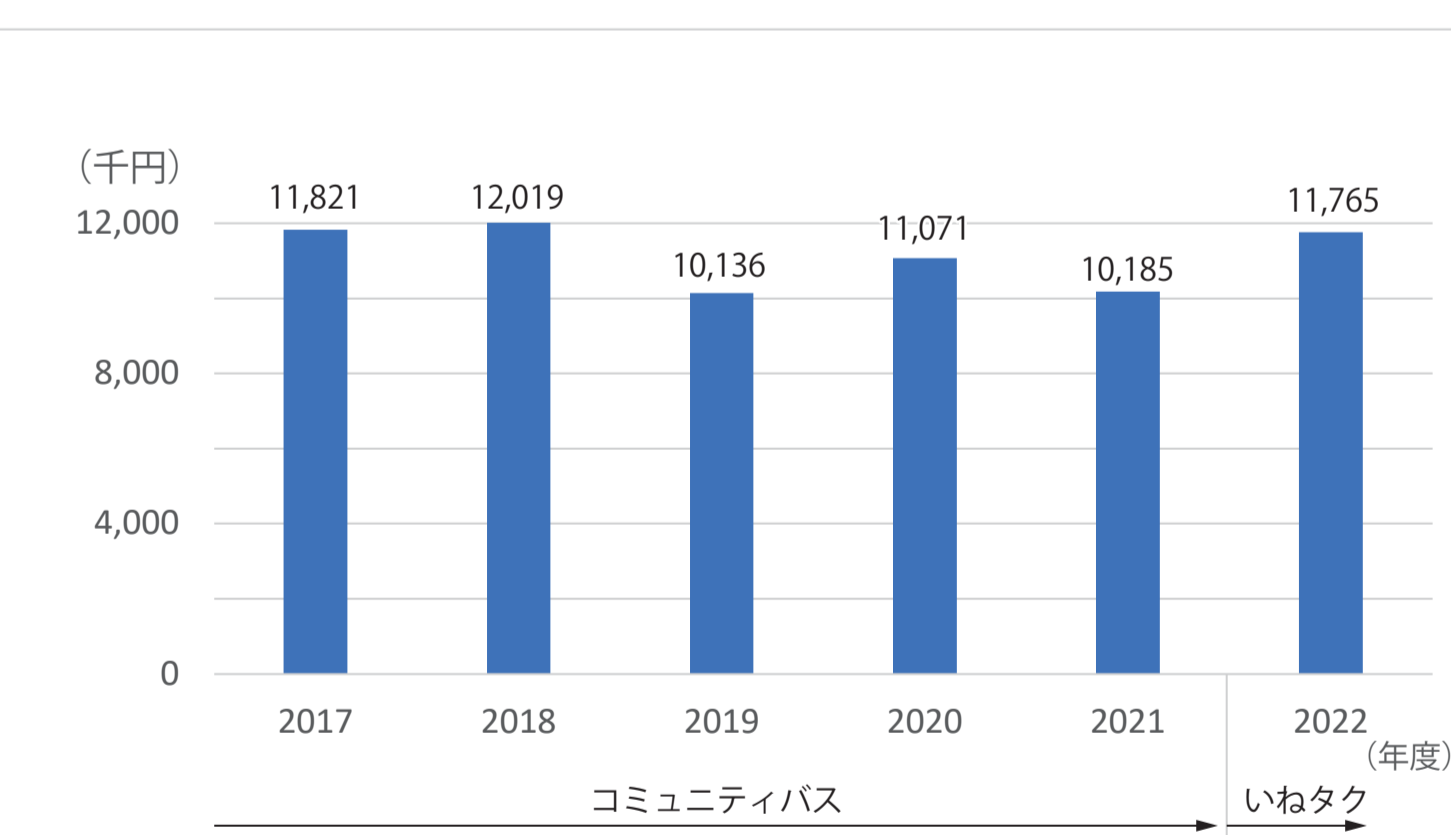
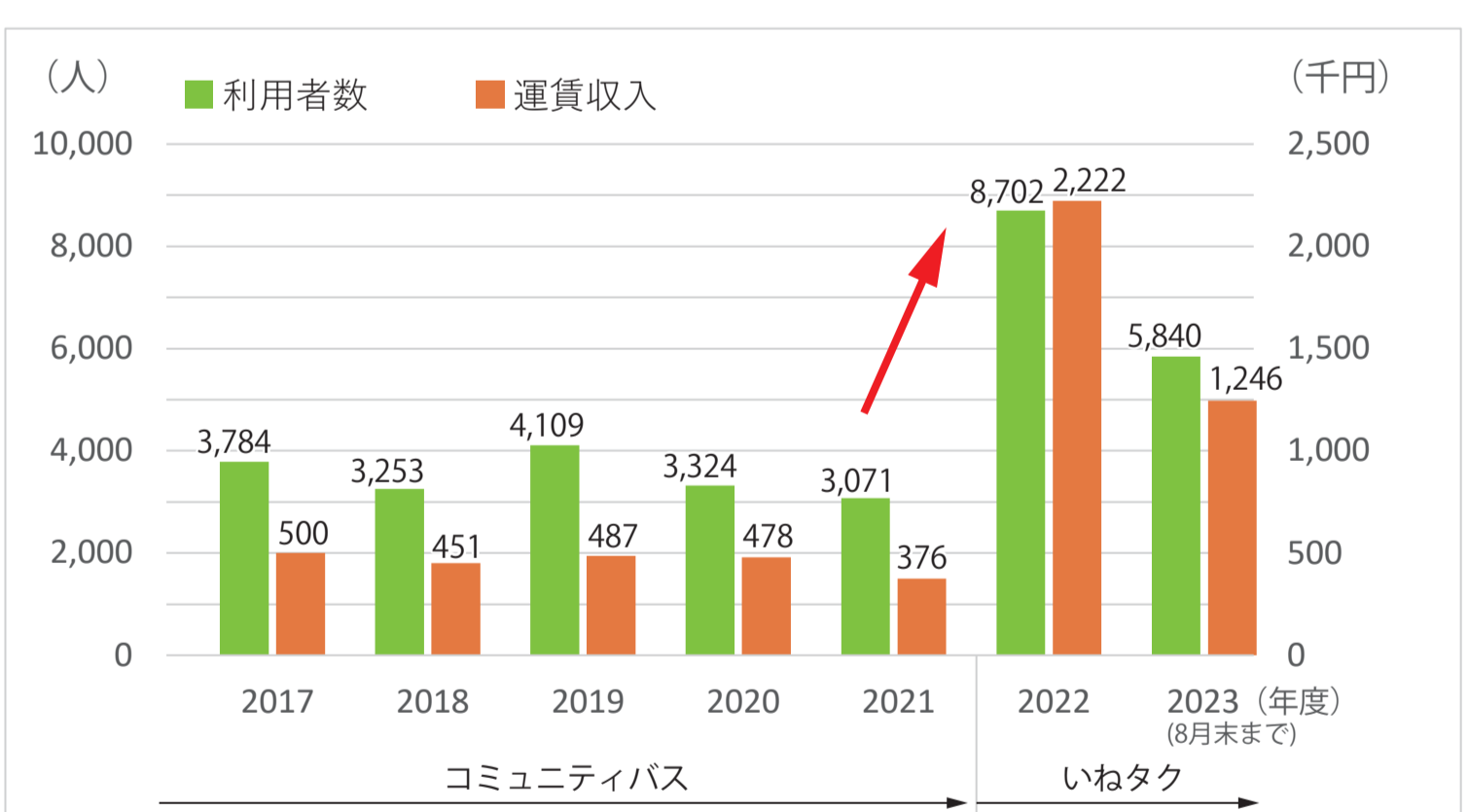


■いねタク(2022年4月から)



■いねタク概要

- ・運行範囲：伊根町内に限定 ・車両：電気自動車3台（2台が常時運行）
- ・運行時間：7時45分-21時（最終予約受付は20時30分まで）
- ・運賃：大人300円／小学生・障がい者150円／未就学児 無料
- ・支払方法：現金・回数券
- ・利用方法：住民 …いねばん・電話・Web予約
観光客…飲食店等の観光関連施設で専用QRコードから予約
- ・実施主体：伊根町（一社）伊根町ふるさと振興公社に運行委託



✓利用者数・運賃収入：いねタク運行によって大幅に増加
✓町の負担額：いねタクはコミュニティバスと同程度
⇒より多くの利用者の移動需要に応えられた

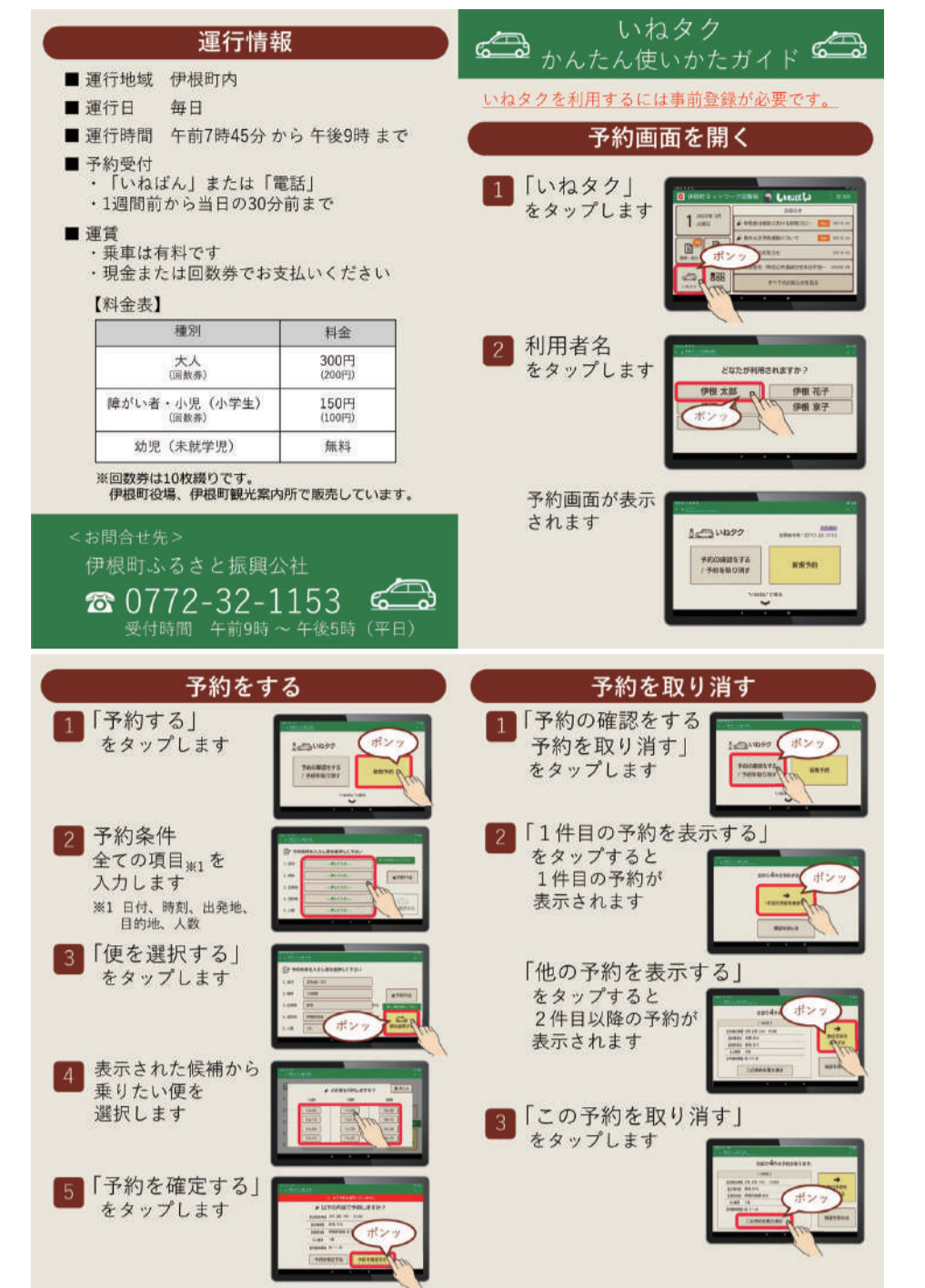
〈プロジェクト内容〉

■いねタク利用促進にはより多くの登録者と予約方法の周知が重要

- ・伊根町は全世帯にタブレット端末（いねばん）を配布
⇒「いねばん」にいねタクの利用者登録や予約を設定
- ・高齢者比率が高い
⇒町民向けの事前説明会や老人クラブイベントでの説明会、個別質問にも対応 いねタク利用の不安解消に努める
- ・観光利用も想定
⇒宿泊・飲食店などにもWeb予約の方法を周知
観光客の予約を店舗で代行するケースも



いねタク予約操作方法説明会の様子



いねタク予約操作方法ガイド

〈効果〉

✓「いねばん」登録者数

2022年3月末： 472人/181世帯
2023年3月末： 896人/360世帯
2023年8月末： 1,015人/406世帯

✓コミュニティバスの運行時に比べていねタク利用者数は増加

収支率・利用者1人当たり公的資金投入額も改善

✓利用者は高齢者が中心であるが子育て世代の利用も多い

✓高齢者は電話予約が多いが70歳代の「いねばん」予約は約4割

表1 いねタク予約方法(2022年度)

いねばん	電話	Web
1,531人(22%)	4,503人(64%)	1,031人(14%)

表2 年代別いねタク予約状況(2022年度) 人数(割合)

	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
いねばん	113(62.8)	12(5.5)	25(10.4)	114(30.4)	59(21.0)	145(36.8)	408(39.9)	655(15.0)
電話	25(13.9)	11(5.1)	7(2.9)	38(10.1)	58(20.6)	97(24.6)	573(56.0)	3,694(84.9)
Web	42(23.3)	194(89.4)	208(86.7)	223(59.5)	164(58.4)	152(38.6)	42(4.1)	4(0.1)
合計	180人	217人	240人	375人	281人	394人	1,023人	4,353人

■予約回数全体におけるWebでの予約回数5回以下が50.9%

⇒Web予約の半分は観光利用と推察される

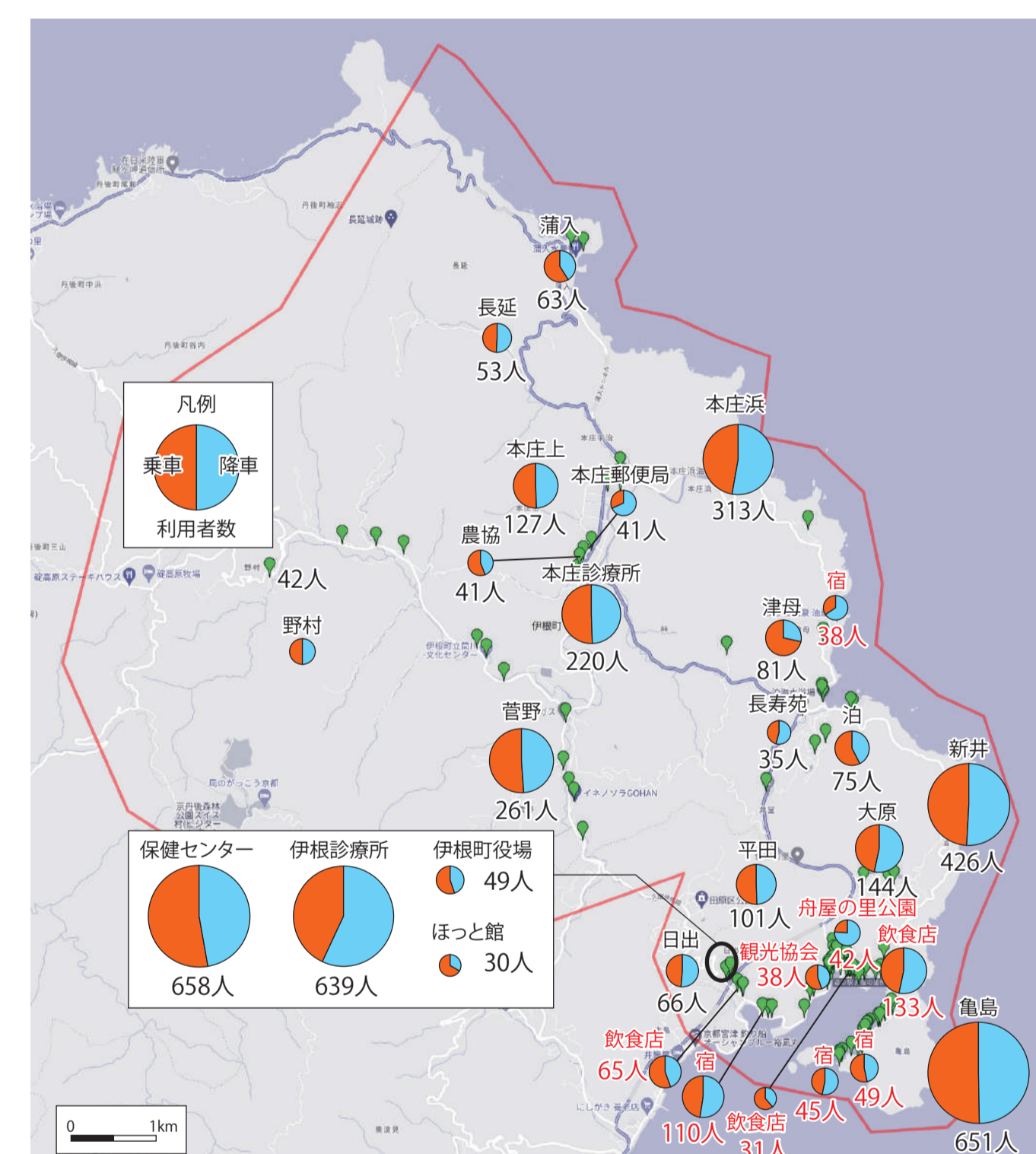


図3 大字別・施設別いねタク利用者数（30人以上）

■住民利用と観光利用は移動空間・時間帯ともに一定程度すみ分けられていると推察 ⇒乗合率向上の課題

表3 時間帯別いねタク利用状況(2023年度) 単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月
7時台	151	182	201	121	13
8時台	147	157	154	139	93
9時台	104	115	91	118	85
10時台	89	97	79	108	113
11時台	42	33	17	25	39
12時台	45	40	37	41	43
13時台	68	75	123	87	76
14時台	75	73	148	99	82
15時台	98	110	147	90	68
16時台	78	148	155	91	32
17時台	36	41	39	49	44
18時台	20	27	31	27	20
19時台	30	27	29	28	20
20時台	36	42	27	31	19
計	1,019	1,167	1,278	1,054	747

〈結論〉

- ・デマンド型交通は利用者に対する丁寧な登録・予約方法の周知がその後の利用増加に大きく関わる
- ・いねタクについての町民アンケートの結果
非利用者よりも利用者の方が評価は高い ⇒**「乗ってみたら」便利**
- ・運行後も予約方法の対面による説明は継続的に必要
他地域のスマホアプリ予約についても同様の取り組みが期待される

〈課題と展望〉

- ✓利用方法・操作方法周知の継続
- ✓町外施設(特にスーパーマーケット)へのいねタク利用の声が高い
⇒**町外は路線バスの原則を町長をはじめとして共有**
路線バスの維持・利用促進 ※路線バスの一部時間帯は観光客で大混雑
いねタク運行による路線バスへの効果は検討課題
- ✓運転士の確保・維持
- ✓利用回数が増加すると利用できないケースが増加
⇒**相乗り率の増加を目指す** ※2022年度1運行あたり1.82人